

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
F00700	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	②臨床における心構え 〔A(1)、(2)〕	4. 医療の担い手が守るべき倫理規範を遵守し、心ざわしい態度で行動する。(態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F00800	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	②臨床における心構え 〔A(1)、(2)〕	5. 患者・生活者の基本的権利、自己決定権について配慮する。(態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F00900	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	②臨床における心構え 〔A(1)、(2)〕	6. 薬学的管理を実施する際に、インフォームド・コンセントを得ることができる。(態度)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F01000	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	②臨床における心構え 〔A(1)、(2)〕	7. 職務上知り得た情報について守秘義務を遵守する。(態度)	○	○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F01600	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	6. 病院における薬剤部門の位置づけと業務の流れについて他部門と関連付けて説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F01700	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	7. 代表的な疾患の入院治療における適切な薬学的管理について説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F01800	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	8. 入院から退院に至るまで入院患者の医療に継続して関わることができる。(態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F01900	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	9. 急性期医療(救急医療・集中治療・外傷治療等)や周術期医療における適切な薬学的管理について説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02000	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	10. 周産期医療や小児医療における適切な薬学的管理について説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02100	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	11. 終末期医療や緩和ケアにおける適切な薬学的管理について説明できる。		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02200	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	12. 外来化学療法における適切な薬学的管理について説明できる。		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02300	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	13. 保険評価要件を薬剤師業務と関連付けて概説することができる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02400	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	14. 薬局における薬剤師業務の流れを相互に関連付けて説明できる。	○		薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02500	F 薬学臨床	(1) 薬学臨床の基礎	③臨床実習の基礎	15. 薬局の調剤に対して、処方せんの受付から薬剤の交付に至るまで継続して関わることができる。(知識・態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02700	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	①法令・規則等の理解と遵守 〔B(2)、(3)参照〕	2. 調剤業務に関わる法的文書(処方せん、調剤録等)の適切な記載と保存・管理ができる。(知識・技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02800	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	①法令・規則等の理解と遵守 〔B(2)、(3)参照〕	3. 法的根拠に基づき、一連の調剤業務を適正に実施する。(技能・態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F02900	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	①法令・規則等の理解と遵守 〔B(2)、(3)参照〕	4. 保険薬局として必要な条件や設備等を具体的に関連付けて説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F03600	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	②処方せんと疑義照会	7. 処方せんの記載事項(医薬品名、分量、用法・用量等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F03700	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	②処方せんと疑義照会	8. 注射薬処方せんの記載事項(医薬品名、分量、投与速度、投与ルート等)が適切であるか確認できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F03800	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	②処方せんと疑義照会	9. 処方せんの正しい記載方法を例示できる。(技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F03900	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	②処方せんと疑義照会	10. 薬歴、診療録、患者の状態から処方箋が妥当であるか判断できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F04000	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	②処方せんと疑義照会	11. 薬歴、診療録、患者の状態から判断して適切に疑義照会ができる。(技能・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F04900	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	9. 主な医薬品の一般名・剤形・規格から該当する製品を選択できる。(技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05000	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	10. 適切な手順で後発医薬品を選択できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05100	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	11. 処方せんに従って計数・計量調剤ができる。(技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05200	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	12. 錠剤の粉砕、およびカプセル剤の開封の可否を判断し、実施できる。(知識・技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05300	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	13. 一回量(一包装)調剤の必要性を判断し、実施できる。(知識・技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05400	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	14. 注射処方せんに従って注射薬調剤ができる。(技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05500	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	15. 注射剤・散剤・水剤等の配合変化に関して実施されている回避方法を列挙できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05600	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	16. 注射剤(高カロリー輸液等)の無菌的混合操作を実施できる。(技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05700	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	17. 抗悪性腫瘍薬などの取扱いにおけるケミカルハザード回避の手技を実施できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05800	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	18. 特別な注意を要する医薬品(劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬・抗悪性腫瘍薬等)の調剤と適切な取扱いができる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F05900	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調製	19. 調製された薬剤に対して、監査が実施できる。(知識・技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F06800	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	④患者・薬局者対応、服薬指導、患者	9. 患者・薬局者に合わせて適切な対応ができる。(態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F06900	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	④患者・薬局者対応、服薬指導、患者	10. 患者・薬局者から、必要な情報(症状、心理状態、既往歴、生活習慣、アレルギー歴、薬歴、副作用歴等)を適切な手順で聞き取ることができる。(知識・態度)	○		薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F07000	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	④患者・薬局者対応、服薬指導、患者	11. 医師の治療方針を理解した上で、患者への適切な服薬指導を実施する。(知識・態度)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F07100	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	④患者・薬局者対応、服薬指導、患者	12. 患者・薬局者の病状や背景に配慮し、医薬品を安全かつ有効に使用するための服薬指導や患者教育ができる。(知識・態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F07200	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	④患者・薬局者対応、服薬指導、患者	13. 妊婦・授乳婦、小児、高齢者等特別な配慮が必要な患者への服薬指導において、適切な対応ができる。(知識・態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F07300	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	④患者・薬局者対応、服薬指導、患者	14. お薬手帳、健康手帳、患者向け説明書等を使用した服薬指導ができる。(態度)	○		薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F07400	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	④患者・薬局者対応、服薬指導、患者	15. 収集した患者情報を薬歴や診療録に適切に記録することができる。(知識・技能)	○	○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F08300	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑤医薬品の供給と管理	9. 医薬品の供給・保管・廃棄について適切に実施できる。(知識・技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F08400	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑤医薬品の供給と管理	10. 医薬品の適切な在庫管理を実施する。(知識・技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F08500	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑤医薬品の供給と管理	11. 医薬品の適正な採用と採用中止の流れについて説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F08600	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑤医薬品の供給と管理	12. 劇薬・毒薬・麻薬・向精神薬および覚醒剤原料の適切な管理と取り扱いができる。(知識・技能)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F08700	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑤医薬品の供給と管理	13. 特定生物由来製品の適切な管理と取り扱いを体験する。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F09500	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑥安全管理	8. 特にリスクの高い代表的な医薬品(抗悪性腫瘍薬、糖尿病治療薬、使用制限のある薬等)の安全管理を体験する。(知識・技能・態度)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F09600	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑥安全管理	9. 調剤ミス防止のために工夫されている事項を具体的に説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F09700	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑥安全管理	10. 施設内のインシデント(ヒヤリハット)、アクシデントの事例をもとに、リスクを回避するための具体策と発生後の適切な対処法を提案することができる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F09800	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑥安全管理	11. 施設内の安全管理指針を遵守する。(態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F09900	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑥安全管理	12. 施設内で衛生的な手洗い、スタンダードプリコーションを実施する。(技能)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F10000	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑥安全管理	13. 臨床検体・感染性廃棄物を適切に取り扱うことができる。(技能・態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F10100	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	⑥安全管理	14. 院内での感染対策(予防、蔓延防止など)について具体的な提案ができる。(知識・態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F10600	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	①患者情報の把握	5. 基本的な医療用語、略語を適切に使用できる。(知識・態度)	○	○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F10700	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	①患者情報の把握	6. 患者・薬局者および種々の情報源(診療録、薬歴、指導記録、看護記録、お薬手帳、持参薬等)から、薬物療法に必要な情報を収集できる。(技能・態度)	○	○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F10800	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	①患者情報の把握	7. 患者の身体所見を薬学的管理に活かすことができる。(技能・態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F11000	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	②医薬品情報の収集と活用 〔E3(1)参照〕	2. 施設内において使用できる医薬品の情報源を把握し、利用することができる。(知識・技能)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
F11100	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	②医薬品情報の収集と活用 〔E3(1)参照〕	3. 薬物療法に対する問い合わせに対し、根拠に基づいた報告書を作成できる。(知識・技能)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F11200	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	②医薬品情報の収集と活用 〔E3(1)参照〕	4. 医療スタッフおよび患者のニーズに合った医薬品情報提供を体験する。(知識・態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F11300	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	②医薬品情報の収集と活用 〔E3(1)参照〕	5. 安全で有効な薬物療法に必要な医薬品情報の評価、加工を体験する。(知識・技能)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F11400	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	②医薬品情報の収集と活用 〔E3(1)参照〕	6. 緊急安全性情報、安全性速報、不良品回収、製造中止などの緊急情報を施設内で適切に取扱うことができる。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12100	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	7. 代表的な疾患の患者について、診断名、病態、科学的根拠等から薬物治療方針を確認できる。		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12200	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	8. 治療ガイドライン等を確認し、科学的根拠に基づいた処方を立案できる。		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12300	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	9. 患者の状態(疾患、重症度、合併症、肝・腎機能や全身状態、遺伝子の特性、心理・希望等)や薬剤の特徴(作用機序や製剤的性質等)に基づき、適切な処方案を提案できる。(知識・態度)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12400	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	10. 処方設計の提案に際し、薬物投与プロトコルやクリニカルパスを活用できる。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12500	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	11. 入院患者の持参薬について、継続・変更・中止の提案ができる。(知識・態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12600	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	12. アドヒアランス向上のために、処方変更、調剤や用法の工夫が提案できる。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12700	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	13. 処方提案に際して、医薬品の経済性等を考慮して、適切な後発医薬品を選択できる。		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F12800	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	③処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)	14. 処方提案に際し、薬剤の選択理由、投与量、投与方法、投与期間等について、医師や看護師等に判りやすく説明できる。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13200	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	4. 医薬品の効果と副作用をモニタリングするための検査項目とその実施を提案できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13300	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	5. 薬物血中濃度モニタリングが必要な医薬品が処方されている患者について、血中濃度測定を提案できる。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13400	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	6. 薬物血中濃度の推移から薬物療法の効果および副作用について予測できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13500	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	7. 臨床検査値の変化と使用医薬品の関連性を説明できる。		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13600	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	8. 薬物治療の効果について、患者の症状や検査所見などから評価できる。		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13700	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	9. 副作用の発現について、患者の症状や検査所見などから評価できる。		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13800	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	10. 薬物治療の効果、副作用の発現、薬物血中濃度等に基づき、医師に対し、薬剤の種類、投与量、投与方法、投与期間等の変更を提案できる。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F13900	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	11. 報告に必要な要素(5W1H)に留意して、収集した患者情報を正確に記載できる。(技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F14000	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	12. 患者の薬物治療上の問題点を列挙し、適切な評価と薬学的管理の立案を行い、SOAP形式等で適切に記録する。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F14100	F 薬学臨床	(3) 薬物療法の実践	④処方設計と薬物療法の実践(薬物療法における効果と副作用の評価)	13. 医薬品・医療機器等安全性情報報告用紙に、必要事項を記載できる。(知識・技能)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F14500	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	①医療機関におけるチーム医療	4. 薬物療法上の問題点を解決するために、他の薬剤師および医師・看護師等の医療スタッフと連携できる。(態度)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F14600	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	①医療機関におけるチーム医療	5. 医師・看護師等の他職種と患者の状態(病状、検査値、アレルギー歴、心理、生活環境等)、治療開始後の変化(治療効果、副作用、心理状態、QOL等)の情報を共有する。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F14700	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	①医療機関におけるチーム医療	6. 医療チームの一員として、医師・看護師等の医療スタッフと患者の治療目標と治療方針について討議(カンファレンスや患者回診への参加等)する。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F14800	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	①医療機関におけるチーム医療	7. 医師・看護師等の医療スタッフと連携・協力して、患者の最善の治療・ケア提案を体験する。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F14900	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	①医療機関におけるチーム医療	8. 医師・看護師等の医療スタッフと連携して退院後の治療・ケアの計画を検討できる。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F15000	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	①医療機関におけるチーム医療	9. 病院内の多様な医療チーム(ICT、NST、緩和ケアチーム、褥瘡チーム等)の活動に薬剤師の立場で参加できる。(知識・態度)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F15300	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	②地域におけるチーム医療	3. 地域における医療機関と薬局薬剤師の連携を体験する。(知識・態度)	○	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F15400	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参〕	②地域におけるチーム医療	4. 地域医療を担う職種間で地域住民に関する情報共有を体験する。(技能・態度)	◎	◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F15800	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画	4. 在宅医療・介護に関する薬剤師の管理業務(訪問薬剤管理指導業務、居宅療養管理指導業務)を体験する。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F15900	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画	5. 地域における介護サービスや介護支援専門員等の活動と薬剤師との関わりを体験する。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F16000	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画	6. 在宅患者の病状(症状、疾患と重症度、栄養状態等)とその変化、生活環境等の情報収集と報告を体験する。(知識・態度)		○	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F16300	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画	3. 学校薬剤師の業務を体験する。(知識・技能)	○		薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F16400	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	②地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画	4. 地域住民の衛生管理(消毒、食中毒の予防、日用品に含まれる化学物質の誤嚥誤飲の予防等)における薬剤師活動を体験する。(知識・技能)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F16900	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	5. 薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等をリスクに応じ適切に取り扱い、管理できる。(技能・態度)		◎	薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F17000	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	6. 薬局から収集した情報や身体所見などに基づき、薬局者の病状(疾患、重症度等)や体調を推測できる。(知識・態度)	○		薬局・病院実務実習	4~6年	通期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
F17100	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔E2(9)参照〕	7. 来局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品・一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等)を選択できる。(知識・態度)	◎		薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F17200	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔E2(9)参照〕	8. 選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の使用方法や注意点を来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)	◎		薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F17300	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔E2(9)参照〕	9. 疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)	◎		薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F17500	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	④災害時医療と薬剤師	2. 災害時における地域の医薬品供給体制・医療救護体制について説明できる。			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
F17600	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	④災害時医療と薬剤師	3. 災害時における病院・薬局と薬剤師の役割について討議する。(態度)			薬局・病院実務実習	4~6年	通期
A06600	A 基本事項	(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成	④次世代を担う人材の育成	1. 薬剤師の使命に後輩等の育成が含まれることを認識し、ロールモデルとなるように努める。(態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
A06700	A 基本事項	(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成	④次世代を担う人材の育成	2. 後輩等への適切な指導を実践する。(技能・態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00100	G 薬学研究	(1) 薬学における研究の位置づけ		1. 基礎から臨床に至る研究の目的と役割について説明できる。			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00200	G 薬学研究	(1) 薬学における研究の位置づけ		2. 研究には自立性と独創性が求められていることを知る。			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00300	G 薬学研究	(1) 薬学における研究の位置づけ		3. 現象を客観的に捉える観察眼をもち、論理的に思考できる。(知識・技能・態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00400	G 薬学研究	(1) 薬学における研究の位置づけ		4. 新たな課題にチャレンジする創造的精神を養う。(態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00500	G 薬学研究	(2) 研究に必要な法規範と倫理		1. 自らが実施する研究に係る法令、指針について概説できる。			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00600	G 薬学研究	(2) 研究に必要な法規範と倫理		2. 研究の実施、患者情報の取扱い等において配慮すべき事項について説明できる。			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00700	G 薬学研究	(2) 研究に必要な法規範と倫理		3. 正義性、社会性、誠実性に配慮し、法規範を遵守して研究に取り組む。(態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00800	G 薬学研究	(3) 研究の実践		1. 研究課題に関する国内外の研究成果を調査し、読解、評価できる。(知識・技能)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G00900	G 薬学研究	(3) 研究の実践		2. 課題達成のために解決すべき問題点を抽出し、研究計画を立案する。(知識・技能)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G01000	G 薬学研究	(3) 研究の実践		3. 研究計画に沿って、意欲的に研究を実施できる。(技能・態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G01100	G 薬学研究	(3) 研究の実践		4. 研究の各プロセスを適切に記録し、結果を考察する。(知識・技能・態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G01200	G 薬学研究	(3) 研究の実践		5. 研究成果の効果的なプレゼンテーションを行い、適切な質疑応答ができる。(知識・技能・態度)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
G01300	G 薬学研究	(3) 研究の実践		6. 研究成果を報告書や論文としてまとめることができる。(技能)			卒業研究及び卒業論文	4~6年	通期
A05404	A 基本事項	(4) 多職種連携協働とチーム医療		(B) 手術部、ICUなどにおける薬剤師の業務を概説できる。			アドバンスト実務実習	56年	通期
E08002	E2 薬理・病態・薬物治療	(3) 循環器系・血液系・造血管系・泌尿器系・生殖器系の疾患と薬	③泌尿器系、生殖器系疾患の薬、病態、薬物治療	(B) 小児や腎疾患患者を対象としたTPNを調製できる。			アドバンスト実務実習	56年	通期
F04601	F 薬学臨床	(2) 処方せんに基づく調剤	③処方せんに基づく医薬品の調剤	(B) 抗がん剤の無菌調製の注意点を説明し、調製できる。			アドバンスト実務実習	56年	通期
F15101	F 薬学臨床	(4) チーム医療への参画〔A(4)参照〕	②地域におけるチーム医療	(B) 地域医療連携室の業務内容を理解し、その役割を概説できる。			アドバンスト実務実習	56年	通期
F15802	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画	(A) 福祉施設・患者宅における薬剤管理を体験し、問題点を把握するとともに薬剤師の役割を概説できる。			アドバンスト実務実習	56年	通期
J20602	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例)	F 薬学臨床	①臨床実習の基礎 〔関連コアカリ: 〕	(B) 試験審査委員会等、試験に関わる業務内容と薬剤師の役割について概説できる。			アドバンスト実務実習	56年	通期
J21901	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画 〔関連コアカリ: 〕	(A) 在宅ケアにおける担当者会議に参加する職種とその役割について概説できる。	◎		アドバンスト実務実習	56年	通期
J21902	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画 〔関連コアカリ: 〕	(A) 介護支援専門員(ケアマネージャー)の業務と役割を概説できる。	◎		アドバンスト実務実習	56年	通期
J21903	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画 〔関連コアカリ: 〕	(A・B) 介護支援専門員(ケアマネージャー)の業務内容ならびに実際の活動を経験し、課題を含めて概説できる。(ケアマネージャー)	◎		アドバンスト実務実習	56年	通期
J21904	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画 〔関連コアカリ: 〕	(A・B) 中核地域地域生活支援センターについて、その目的と業務内容を調べるとともに、地域の中の役割について概説できる(福祉関係、ボランティアを含む地域コーディネーター)	◎		アドバンスト実務実習	56年	通期
J21905	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画 〔関連コアカリ: 〕	(A・B) 訪問看護について、その業務内容を調べるとともに実際の活動を経験し、課題を含めて概説できる。(訪問看護ステーション)			アドバンスト実務実習	56年	通期
J21906	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画 〔関連コアカリ: 〕	(A・B) 訪問看護施設について、その業務内容を調べるとともに実際の活動を経験し、課題を含めて概説できる。(訪問看護施設)			アドバンスト実務実習	56年	通期
J21907	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画 〔関連コアカリ: 〕	(A・B) 福祉・介護施設について、その種類、業務内容を調べるとともに実際の活動を経験し、課題を含めて概説できる。(福祉・介護施設)			アドバンスト実務実習	56年	通期
J22101	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑩プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔関連コアカリ: (5)③〕	(A) 来局者の健康相談を体験する。	○		アドバンスト実務実習	56年	通期
J22102	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑩プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔関連コアカリ: (5)③〕	(A) 住民の健康増進に関わる行政の関わり、活動内容を調べ、実際の活動を経験し、課題を含めて概説できる。(健康増進課)	○		アドバンスト実務実習	56年	通期
J22103	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑩プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔関連コアカリ: (5)③〕	(A) 一般用医薬品、健康食品などの販売を体験する。			アドバンスト実務実習	56年	通期
J00401	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	①医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保に係る法規範 〔関連コアカリ: 〕	1. レギュラトリーサイエンスに基づく医薬品等の品質、有効性及び安全性の評価法について討議できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J00501	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	①医薬品等の品質、有効性及び安全性の確保に係る法規範 〔関連コアカリ: 〕	2. 医薬品等の開発と規制における国際調和の動向について討議できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J00701	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	③医薬品と医療の経済性 〔関連コアカリ: (3)②〕	1. 医薬品等に係る知的財産権保護の仕組み(申請、承認など)について討議できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J00801	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	③医薬品と医療の経済性 〔関連コアカリ: (3)②〕	2. 日本と諸外国における知的財産権保護に対する考え方の違いについて討議できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J00901	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	③医薬品と医療の経済性 〔関連コアカリ: (3)②〕	3. 医薬品の創製に関わる仕組みについて、日本と諸外国でどのように異なるかを討議できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J01001	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	③医薬品と医療の経済性 〔関連コアカリ: (3)②〕	4. 国際的な医薬品市場の動向と企業展開について討議できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J01101	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	③医薬品と医療の経済性 〔関連コアカリ: (3)②〕	5. 希少疾病に対する医薬品(オーファンドラッグ)開発の現状と問題点について討議できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
J01200	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	③医薬品と医療の経済性 [関連コアカリ: (3) ②]	6. 代表的な薬剤経済評価手法を用いて、薬物治療の効率性を評価できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J09900	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	C4 生体分子・医薬品の化学による理解	③概説	1. 古典的な医薬品開発から理論的な創薬への歴史について説明できる。			医薬品開発特論演習	56年	通期
J20400	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	①臨床実習の基礎 [関連コアカリ: (3) ③]	1. 治験実施計画書の事前審査を体験する。(知識・技能・態度)			医薬品開発特論演習	56年	通期
E24800	E3 薬物治療に役立つ情報	(3) 個別化医療	⑤個別化医療の計画・立案	1. 個別の患者情報(遺伝的素因、年齢的要因、臓器機能など)と医薬品情報をもとに、薬物治療を計画・立案できる。(技能)		○	ジェンダー・ライフステージ特論演習	56年	通期
J21181	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	④処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案) [関連コアカリ: (3) ③]	加齢に伴う生体機能の変化・変動を適正に保つための生活習慣を提案できる。		○	ジェンダー・ライフステージ特論演習	56年	通期
J21182	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	④処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案) [関連コアカリ: (3) ③]	患者のライフステージ・機能を考慮し、適切な投薬手段を列挙できる。		○	ジェンダー・ライフステージ特論演習	56年	通期
J21702	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師 [関連コアカリ: (3) ③]	妊婦・授乳婦における薬物の吸収、分布、代謝およびそれらの胎児・授乳児に対する影響を説明できる。			ジェンダー・ライフステージ特論演習	56年	通期
J21703	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	④処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案) [関連コアカリ: (3) ③]	小児における薬物の吸収、分布、代謝および排泄機能の特性を説明できる。			ジェンダー・ライフステージ特論演習	56年	通期
J22000	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑨地域保健(公衆衛生、学校薬剤師、啓発活動)への参画 [関連コアカリ: (5) ③]	1. 地域保健において専門的な領域で対応する薬剤師の活動(プライマリケア、サプリメントのアドバイス、糖尿病療養指導、漢方医療、アンチドーピング活動等)を体験する。(技能・態度)		◎	地域ケア特論演習	56年	通期
J22100	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑩プライマリケア、セルフメディケーションの実践 [関連コアカリ: (5) ③]	1. 対応した来局者の病状や健康状態に関して、継続的な観察や指導を体験する。(技能・態度)		◎	地域ケア特論演習	56年	通期
H00900	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	1. 行動と知覚、学習、記憶、認知、言語、思考、性格との関係について概説できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
H01000	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	2. 行動と人の内的要因、社会・文化的環境との関係について概説できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
H01100	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	3. 本能行動と学習行動について説明できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
H01200	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	4. レスポネント条件づけとオペラント条件づけについて説明できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
H01300	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	5. 社会的学習(モデリング、観察学習、模倣学習)について概説できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
H01400	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	6. 健康行動の理論(健康信念モデル、変化のステージモデルなど)について概説できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
H01401	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	ヘルスリテラシーについて説明できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
H01402	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(2) 人の行動と心理	①人の行動とその成り立ち	7. 健康行動の理論を応用した生活者支援プログラムを設計できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
J01400	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 [関連コアカリ: (4)]	1. 地域社会における保健、医療、福祉の現状と問題点を調査し、地域による違いについて討議する。			地域ケア特論演習	56年	通期
J01501	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 [関連コアカリ: (4)]	地域社会における保健、医療、福祉の問題解決に向けた取り組みに参加する。		○	地域ケア特論演習	56年	通期
J01502	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 [関連コアカリ: (4)]	多角的視点で地域分析を行うことができる。			地域ケア特論演習	56年	通期
J01503	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 [関連コアカリ: (4)]	地域社会における保健行動の普及啓発の手段について討議する。		○	地域ケア特論演習	56年	通期
J01504	薬学アドバンス教育ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 [関連コアカリ: (4)]	保健行動に関する対人支援について行動科学技法を応用できる。			地域ケア特論演習	56年	通期
A01001		(1) 薬剤師の使命	②薬剤師が果たすべき役割	ファーマシューティカルケアにおけるケアプランの作成の意義を説明できる。			ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00181	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)の定義を説明できる。			ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00182	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)の種類を列挙できる。			ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00183	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	ケースシナリオからDrug Related Problem (DRP)を指摘できる		○ ○	ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00184	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	諸外国の薬科大学で一般的に使用されている教科書を用いてケースシナリオのケアプランを作成できる。		○ ○	ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00185	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)を適切な方法で提示できる。			ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00186	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	指摘したDrug Related Problem (DRP)を分類できる。			ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00187	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)を解決する治療目標を設定できる。		○ ○	ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00188	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)を解決するための手順を説明できる。		○ ○	ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00189	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)を解決する方法を複数あげることができる。		○ ○	ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00190	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)を解決するための最も適切な方法を選択できる。		○ ○	ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
J00191	薬学準備教育ガイドライン(例示)	(1) 薬剤師の使命	①-2薬剤師が果たすべき役割 [関連コアカリ: (1) ②]	Drug Related Problem (DRP)が解決できたかをモニターする方法をあげることができる。		○ ○	ファーマシューティカルケア特論演習	56年	通期
A06405	A 基本事項	(5) 自己研鑽と次世代を担う人材の育成	①学習の在り方	今までに学習した内容を総合的に復習し、複合的な問題に対処できる(知識、態度)。			薬学総合演習及び卒業試験	56年	通期
D02902	D1 健康	(3) 栄養と健康	①栄養	8. 疾病治療における栄養の重要性を他者に伝えることができる。			薬局機能特論演習	56年	通期
E17500	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		3. 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。			薬局機能特論演習	56年	通期
E17600	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		4. 要指導医薬品・一般用医薬品の選択、受診勧奨の要否を判断するために必要な患者情報を収集できる。(技能)			薬局機能特論演習	56年	通期
E17700	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		5. 以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病等			薬局機能特論演習	56年	通期

JIU新コアカリシラバス番号	新コアカリキュラム大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
E17701	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		かゆみ、アレルギーに用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	◎	○	薬局機能特論演習	56年	通期
E17702	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		細菌・真菌感染症に用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	◎		薬局機能特論演習	56年	通期
E17703	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		発熱、痛み等に用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	◎	○	薬局機能特論演習	56年	通期
E17704	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		生活習慣病に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	○		薬局機能特論演習	56年	通期
E17705	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		呼吸器症状に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	○		薬局機能特論演習	56年	通期
E17706	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		消化器症状に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	○		薬局機能特論演習	56年	通期
E17800	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		6. 主な養生法(運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む)とその健康の保持・促進における意義を説明できる。			薬局機能特論演習	56年	通期
E17900	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		7. 要指導医薬品・一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。			薬局機能特論演習	56年	通期
E18000	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		8. 要指導医薬品・一般用医薬品等による治療効果と副作用を判定するための情報を収集し評価できる。(技能)			薬局機能特論演習	56年	通期
F16900	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	5. 薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等をリスクに応じ適切に取り扱い、管理できる。(技能・態度)	◎		薬局機能特論演習	56年	通期
F17000	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	6. 来局者から収集した情報や身体所見などに基づき、来局者の病状(疾患、重症度等)や体調を推測できる。(知識・態度)	○		薬局機能特論演習	56年	通期
F17100	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	7. 来局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品・一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等)を選択できる。(知識・態度)	◎		薬局機能特論演習	56年	通期
F17200	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	8. 選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の使用方法や注意点などを来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)	◎		薬局機能特論演習	56年	通期
F17201	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の選択理由を来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)			薬局機能特論演習	56年	通期
F17300	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	9. 疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)	◎		薬局機能特論演習	56年	通期
E12000	E2 薬理・病態・薬物治療	(6) 感覚器・皮膚の疾患と薬	③皮膚疾患の薬、病態、治療	3. 褥瘡について、治療薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)、および病態(病態生理、症状等)・薬物治療(医薬品の選択等)を説明できる。		◎	在宅医療特論演習	56年	通期
E16201	E2 薬理・病態・薬物治療	(7) 病原微生物(感染症)・悪性新生物(がん)と薬	⑨がん終末期医療と緩和ケア	がん終末期の病態(病態生理、症状等)と治療を討議できる。			在宅医療特論演習	56年	通期
E16301	E2 薬理・病態・薬物治療	(7) 病原微生物(感染症)・悪性新生物(がん)と薬	⑨がん終末期医療と緩和ケア	がん性疼痛の病態(病態生理、症状等)と薬物治療(医薬品の選択等)を討議できる。			在宅医療特論演習	56年	通期
F15801	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画	在宅患者訪問薬剤管理指導について概説できる。			在宅医療特論演習	56年	通期
F15901	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画〔B(4)参照〕	担当者会議の意義とそれに参加する職種と在宅ケアにおける各職種の役割について概説できる。			在宅医療特論演習	56年	通期
F15902	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画	介護支援専門員(ケアマネージャー)取得の条件やその業務と役割を概説できる。			在宅医療特論演習	56年	通期
J18500	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	E3 薬物治療に役立つ情報	②収集・評価・加工・提供・管理〔関連コアカリ:(1)〕	1. 臨床上の問題を定式化し、その解決のための情報を収集・評価し、それに基づいて解決法を提案できる。(技能)		◎	在宅医療特論演習	56年	通期
J19100	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	E3 薬物治療に役立つ情報	④特殊な患者〔関連コアカリ:(3)〕	1. 胃ろう造設者、人工肛門造設者、気管切開患者における薬物治療・投与設計において注意すべき点を説明できる。		◎	在宅医療特論演習	56年	通期
J21000	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	③患者情報の把握〔関連コアカリ:(1)〕	1. フィジカルアセスメントを実施し、薬学的判断に活かすことができる。(技能・態度)	○	○	在宅医療特論演習	56年	通期
J21100	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	④処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)〔関連コアカリ:(3)③〕	1. 患者の栄養状態や体液量、電解質などの評価を基に適切な栄養療法や輸液療法を提案できる。(知識・態度)		◎	在宅医療特論演習	56年	通期
J21800	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ:(3)〕	5. 緩和ケア、終末期医療において専門的に対応する薬剤師の薬物療法を体験する。(技能・態度)		◎	在宅医療特論演習	56年	通期
J21900	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑧在宅(訪問)医療・介護への参画〔関連コアカリ:(1)〕	1. 在宅患者の病態や生理的特性、療養環境等を考慮し、より適切な薬物療法を提案できる。(知識・態度)		◎	在宅医療特論演習	56年	通期
A05402	A 基本事項	(4) 多職種連携協働とチーム医療		栄養サポートチーム、緩和ケアチーム、感染症対策チーム等の院内多職種のチーム医療における薬剤師の業務内容を知り、薬剤師の役割について概説できる(討議)。			病院機能特論演習	56年	通期
A05403	A 基本事項	(4) 多職種連携協働とチーム医療		ICU、手術部、放射線部などの病院内の他部門における専任薬剤師の業務内容を知り、薬剤師の役割について概説できる(討議)。			病院機能特論演習	56年	通期
A05405	A 基本事項	(4) 多職種連携協働とチーム医療		院内のリスクマネジメントに関するジェネラルリスクマネージャーの役割、医薬品に関する安全管理について理解し、その中の薬剤師の役割について概説できる。			病院機能特論演習	56年	通期
E20701	E3 薬物治療に役立つ情報	(1) 医薬品情報	③収集・評価・加工・提供・管理	薬剤に関わる緊急安全性情報等の入手方法と院内への情報提供紙を作成できる。			病院機能特論演習	56年	通期
E23301	E3 薬物治療に役立つ情報	(2) 患者情報	②収集・評価・管理	薬剤に関わる病棟からの問い合わせに対して、情報を収集し、適切な形で回答を提供できる。			病院機能特論演習	56年	通期
F17601		(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	④災害時医療と薬剤師	災害医療における薬剤師の役割を理解し、演習において実践できる。			病院機能特論演習	56年	通期
J20601	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	①臨床実習の基礎〔関連コアカリ:(1)〕	治療におけるコーディネーター部門における薬剤師の役割を理解し、申請の流れ、薬剤管理などの薬剤師の業務内容と役割について概説できる(討議)。			病院機能特論演習	56年	通期
J21183	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	④処方設計と薬物療法の実践(処方設計と提案)〔関連コアカリ:(3)③〕	症例を通して、薬剤指導管理業務における薬効と副作用発現の有無の確認方法について理解し、提案すべき処方内容を討議する。		○	病院機能特論演習	56年	通期
J21401	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ:(3)〕	1. がん化学療法において専門的に対応する薬剤師の薬物療法を討議する。(技能・態度)			病院機能特論演習	56年	通期
J21402	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ:(3)〕	がん化学療法において専門的に対応する薬剤師の薬物療法(⇒業務内容)を知り、症例における対応方法を討議する。		○	病院機能特論演習	56年	通期
J21403	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ:(3)〕	精神科領域において専門的に対応する薬剤師の薬物療法(⇒業務内容)を知り、症例における対応方法を討議する。			病院機能特論演習	56年	通期
J21404	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ:(3)〕	感染制御領域(HIVを含む)において専門的に対応する薬剤師の薬物療法(⇒業務内容)を知り、症例における対応方法を討議する。			病院機能特論演習	56年	通期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
J21405	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ：(3)〕	妊婦・授乳婦に専門的に対応する薬剤師の薬物療法(⇒業務内容)を知り、症例における対応方法を討議する。			病院機能特論演習	56年	通期
J21501	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ：(3)〕	2. 精神科領域において専門的に対応する薬剤師の薬物療法を討議する。(技能・態度)		○	病院機能特論演習	56年	通期
J21601	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ：(3)〕	3. 感染制御領域(HIVを含む)において専門的に対応する薬剤師の薬物療法を討議する。(技能・態度)		○	病院機能特論演習	56年	通期
J21701	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ：(3)〕	4. 妊婦・授乳婦に専門的に対応する薬剤師の薬物療法を討議する。(技能・態度)		○	病院機能特論演習	56年	通期
J21801	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ：(3)〕	6. 施設において専門領域(救急医療、腎臓病薬物療法、褥瘡治療、医薬品情報等)で活動する薬剤師業務を討議する。(技能・態度)		○	病院機能特論演習	56年	通期
J21802	薬学アドバンスト教育ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	⑦専門領域で活動する薬剤師〔関連コアカリ：(3)〕	施設において専門領域(救急医療、腎臓病薬物療法、褥瘡治療、医薬品情報等)で活動する薬剤師業務を知り、症例における対応方法を討議する。		○	病院機能特論演習	56年	通期
E00382	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	代表的な疾患の治療に用いられる医薬品名(一般名と商品名)を列挙し、その作用機序と薬理作用を説明できる。			薬学統合演習	56年	通期
E00383	E1 薬の作用と体の変化	(1) 薬の作用	①薬の作用	代表的な疾患の治療に用いられる新医薬品名を列挙し、その作用機序と薬理作用を説明できる。			薬学統合演習	56年	通期
E02400	E1 薬の作用と体の変化	(3) 薬物治療の位置づけ		2. 代表的な疾患における薬物治療の役割について、病態、薬効薬理、薬物動態に基づいて討議する。(知識・技能)			薬学統合演習	56年	通期
E02800	E1 薬の作用と体の変化	(4) 医薬品の安全性		4. 代表的薬害、薬物乱用について、健康リスクの観点から討議する。(態度)	○		薬学統合演習	56年	通期
E04900	E2 薬理・病態・薬物治療	(1) 神経系の疾患と薬	③中枢神経系の疾患の薬、病態、治療	13. 中枢神経系疾患の社会生活への影響および薬物治療の重要性について討議する。(態度)			薬学統合演習	56年	通期
E18900	E2 薬理・病態・薬物治療	(11) 薬物治療の最適化	①総合演習	1. 代表的な疾患の症例について、患者情報および医薬品情報などの情報に基づいて薬物治療の最適化を討議する。(知識・態度)			薬学統合演習	56年	通期
E19000	E2 薬理・病態・薬物治療	(11) 薬物治療の最適化	①総合演習	2. 過剰量の医薬品による副作用への対応(解毒薬を含む)を討議する。(知識・態度)			薬学統合演習	56年	通期
E19100	E2 薬理・病態・薬物治療	(11) 薬物治療の最適化	①総合演習	3. 長期療養に付随する合併症を列挙し、その薬物治療について討議する。(知識・態度)			薬学統合演習	56年	通期
E20600	E3 薬物治療に役立つ情報	(1) 医薬品情報	③収集・評価・加工・提供・管理	4. 臨床試験などの原著論文および三次資料について医薬品情報の質を評価できる。(技能)	○	○	薬学統合演習	56年	通期
D02901	D1 健康	(3) 栄養と健康	①栄養	8. 疾病治療における栄養の重要性を他者に伝えることができる。			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E01401	E1 薬の作用と体の変化	(2) 身体の病的変化を知る	①症候	下の症候について、それらを伴う代表的疾患を挙げ、患者情報をもとに疾患を推測し、討議する。 ショック、発熱、脱水、全身倦怠感、黄疸、発疹、貧血、出血傾向、リンパ節腫脹、浮腫、心悸亢進・動悸、胸痛、呼吸困難、咳、頭痛、腹痛、悪心・嘔吐、食欲不振、下痢・便秘、吐血・下血、腹部膨満(腹水を含む)、タンパク尿、血尿、尿量・排尿の異常、月経異常、関節痛、関節腫脹、腰背部痛、記憶障害、知			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17301	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		1. 地域における疾病予防、健康維持増進、セルフメディケーションのために薬剤師が果たす役割を説明できる。	○		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17500	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		3. 代表的な症候について、関連する頻度の高い疾患、見逃してはいけない疾患を列挙できる。			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17600	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		4. 要指導医薬品・一般用医薬品の選択、受診勧奨の要否を判断するために必要な患者情報を収集できる。(技能)			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17700	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		5. 以下の疾患・症候に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。 発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病等			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17701	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		かゆみ、アレルギーに用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	◎	○	薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17702	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		細菌・真菌感染症に用いられる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	◎		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17703	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		発熱、痛み、かゆみ、消化器症状、呼吸器症状、アレルギー、細菌・真菌感染症、生活習慣病等	◎	○	薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17704	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		生活習慣病に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	○		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17705	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		呼吸器症状に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	○		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17706	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		消化器症状に対するセルフメディケーションに用いる要指導医薬品・一般用医薬品等に含まれる成分・作用・副作用を列挙できる。	○		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17800	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		6. 主な養生法(運動・食事療法、サプリメント、保健機能食品を含む)とその健康の保持・促進における意義を説明できる。			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E17900	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		7. 要指導医薬品・一般用医薬品と医療用医薬品、サプリメント、保健機能食品等との代表的な相互作用を説明できる。			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18000	E2 薬理・病態・薬物治療	(9) 要指導医薬品・一般用医薬品とセルフメディケーション		8. 要指導医薬品・一般用医薬品等による治療効果と副作用を判定するための情報を収集し評価できる。(技能)			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18401	E2 薬理・病態・薬物治療	(10) 医療の中の漢方薬	①漢方薬の基礎	対象者に応じて漢方薬や西洋薬、民間薬、サプリメント、保健機能食品などを推奨できる。	◎		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18500	E2 薬理・病態・薬物治療	(10) 医療の中の漢方薬	②漢方薬の応用	1. 漢方医学における診断法、体質や病態の捉え方、治療法について概説できる。	○		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18501	E2 薬理・病態・薬物治療	(10) 医療の中の漢方薬	②漢方薬の応用	漢方医が処方する漢方薬に関して、その処方意図および注意することを討議する。(知識、技能)			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18600	E2 薬理・病態・薬物治療	(10) 医療の中の漢方薬	②漢方薬の応用	2. 日本薬局方に収載される漢方薬の適応となる証、症状や疾患について例示して説明できる。	○		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18700	E2 薬理・病態・薬物治療	(10) 医療の中の漢方薬	②漢方薬の応用	3. 現代医療における漢方薬の役割について説明できる。			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18800	E2 薬理・病態・薬物治療	(10) 医療の中の漢方薬	③漢方薬の注意点	1. 漢方薬の副作用と使用上の注意点を例示して説明できる。	○	○	薬局セルフケア特論演習	56年	通期
E18901	E2 薬理・病態・薬物治療	(11) 薬物治療の最適化	①総合演習	代表的な民間薬・漢方薬の薬理(薬理作用、機序、主な副作用)および臨床適用を説明できる。			薬局セルフケア特論演習	56年	通期
F16900	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	5. 薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等をリスクに応じ適切に取り扱い、管理できる。(技能・態度)	◎		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
F17000	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	6. 来局者から収集した情報や身体所見などに基づき、来局者の病状(疾患、重症度等)や体調を推測できる。(知識・態度)	○		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
F17100	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	7. 来局者に対して、病状に合わせた適切な対応(医師への受診勧奨、救急対応、要指導医薬品・一般用医薬品および検査薬などの推奨、生活指導等)を選択できる。(知識・態度)	◎		薬局セルフケア特論演習	56年	通期
F17200	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践〔E2(9)参照〕	8. 選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の使用方法や注意点などを来局者に適切に判りやすく説明できる。(知識・態度)	◎		薬局セルフケア特論演習	56年	通期

JIU新コアカリ シラバス番号	新コアカリキュラム 大項目	中項目	小項目	GIOとSBO	健康	療養	科目	年次	配置
F17201	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔E2(9)参照〕	選択した薬局製剤(漢方製剤含む)、要指導医薬品・一般用医薬品、健康食品、サプリメント、医療機器等の選択理由を来局者に適切に判りやすく説明できる。 (知識・態度)			薬局セルフケア特論 演習	56年	通期
F17300	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	③プライマリケア、セルフメディケーションの実践 〔E2(9)参照〕	9. 疾病の予防および健康管理についてのアドバイスを体験する。(知識・態度)	◎		薬局セルフケア特論 演習	56年	通期
H16301	薬学準備教育ガイド ライン(例示)	(9) プレゼンテーション	③口頭・ポスターによるプレゼンテーション	一般用医薬品等を英語で紹介することができる			薬局セルフケア特論 演習	56年	通期
J18100	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	E2 薬理・病態・薬物 治療	②漢方薬の応用〔関連 コアカリ:(10)〕	1. 漢方薬の薬効を構成生薬の薬能(古典的薬効)で説明できる。			薬局セルフケア特論 演習	56年	通期
J20800	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	②医薬品の供給と管理 〔関連コアカリ: (2)⑤〕	2. 薬局製剤、漢方製剤の製造・調製を体験する。(技能・態度)			薬局セルフケア特論 演習	56年	通期
J21000	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	F 薬学臨床	③患者情報の把握 〔関連コアカリ: (2)⑤〕	1. フィジカルアセスメントを実施し、薬学的判断に活かすことができる。(技能・態度)	○	○	薬局セルフケア特論 演習	56年	通期
F15502	F 薬学臨床	(5) 地域の保健・医療・福祉への参画 〔B(4)参照〕	①在宅(訪問)医療・介護への参画	在宅医療において薬剤師が提供できるサービスを列挙できる。	○	◎	薬局機能特論演習	56年	通期
H16001	薬学準備教育ガイド ライン(例示)	(9) プレゼンテーション	③口頭・ポスターによるプレゼンテーション	2. 課題に関して意見をまとめ、決められた時間内で英語で発表できる。(技能)			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
H16101	薬学準備教育ガイド ライン(例示)	(9) プレゼンテーション	③口頭・ポスターによるプレゼンテーション	3. 効果的な英語プレゼンテーションを行う工夫をする。(技能・態度)			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
H16201	薬学準備教育ガイド ライン(例示)	(9) プレゼンテーション	③口頭・ポスターによるプレゼンテーション	4. 英語の質問に対する的確な応答ができる。(技能)			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01300	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	④地域における薬局の役割 〔関連コアカリ: (4)①〕	1. 諸外国における薬局の機能と業務について、日本と比較しながら説明できる。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01500	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 〔関連コアカリ: (4)〕	2. 諸外国における薬剤師の活動分野について、日本と比較しながら説明できる。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01581	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 〔関連コアカリ: (4)〕	医薬品の供給と保健衛生に対する薬剤師やそれらに関わる人の役割について、世界的視点で考え、自分の将来像を描くことができる。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01582	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 〔関連コアカリ: (4)〕	医療過疎地域や人々に対する薬剤師の役割について、世界的視点で考察し、意見を述べる事ができる。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01583	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 〔関連コアカリ: (4)〕	世界の薬剤師業務の現状と目指している方向性を理解する。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01584	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 〔関連コアカリ: (4)〕	世界で議論されている薬学教育モデル、教育の質保障の考え方のモデルを説明できる。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01585	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 〔関連コアカリ: (4)〕	諸外国の大学での薬学教育の現状と問題点を調査する。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期
J01586	薬学アドバンス教育 ガイドライン(例示)	B 薬学と社会	⑤地域における保健、医療、福祉の連携体制と薬剤師 〔関連コアカリ: (4)〕	諸外国の薬科大学で一般的に行われている医療薬学教育の方法を経験する。			国際社会薬学特別演習	3~6年	通期